

## 内外交差点

# インプットなくしてアウトプットなし X Taxiとは何者か?⑦

寺師 大祐氏 (X Taxi 理事) 7人目/12人



弊社は香川県高松市の50台規模の小さなタクシー会社です。自宅と会社が隣接する環境であった為、幼いころから365日働く2代目の父の姿を見て育ちました。しかしながら、一度もタクシーを継げと言われたことはありませんでした。私自身もタクシーを継ぐという気持ちになったことはありませんでした。「自分の好きなことを見つけなさい」と言われ続け、大学では建設工学を専攻し、建設会社に就職して、建設現場の荒々しい雰囲気の中で4年間従事させて頂きました。

生まれ故郷を離れて働いていた中で、やはり生まれ育った高松で暮らしたいという思いがあり、父の体調も気になりました。経営者に対する憧れもあった様に思います。父にタクシーを継ぎたいと伝えましたが、最初は許可を得られませんでした。しかし最終的には納得してもらい、自分の意志でタクシー事業を継ぐことになりました。決意したからには、何が何でもやり遂げるという思いで、日々降りかかってくる諸問題と格闘しながら業務に邁進しております。入社当初は先行き不安な思いになることもありましたが、今では地域交通の一翼を担い、お客様と距離の近いタクシー業が本当に好きで、私の天職だと思っています。

X T a x i 発足の半年ほど前で、新型コロナウイルス患者が日本でも出始めたころだったと思います。現在のX T a x i の代表である近藤氏とお会いする機会があり「一般社団法人を設立しようと思ってるんですよ!」と言われ、何を言っているのか全くピンと来ませんでした。また面白いこと考えているんだろうなと、ワクワク感が湧いてきたことを今でも覚えています。発足の案内を受けて、躊躇う

ことなく入会しました。昨年は総務委員長、現在は総務・広報委員会担当理事として活動させて頂いております。

私を感じるX T a x i の価値は、10年後、20年後のタクシー業界に対して責任

を持つべきだと考える世代の方々が多く入会しているところにあると思います。都会と地方、事業規模の大小に関わらず、営業圏が違うからこそ、包み隠さず悩みを共有し、お互いに応え合える環境があります。3年以上にわたるコロナの影響下でも、希望と勇気をもって経営を継続できたのは、会員の皆様の前向きな姿勢やご意見に救われたからに他なりません。インプットなくしてアウトプットなし。会合に参加すると必ず新たな発見があります。それを自社に持ち帰り、経営に生かす。私にとっては既に必要不可欠な場となっています。

現在、コロナの影響から抜け出し、インバウンド含め急激な需要回復とドライバー不足による供給不足が問題視され、ライドシェア導入についても議論が活発化しており、タクシー業界は大きな転換期を迎えていると思います。タクシー事業者として今何ができるのか。タクシーをさらに魅力的な公共交通手段にし、働き甲斐があり、人の集まる産業になるよう、個々の知識を共有し、結集し、未来のタクシーサービスを創造したいと思っています。

X T a x i は北海道から沖縄まで約100の企業がご入会されております。D X、政策提言、経営力向上、総務広報の4つの委員会を設け、トピックスや業界の課題をテーマに例会やオンラインセミナーを開催しています。少しでも多くの事業者様にご参加いただき、さらに幅広い活動ができることを楽しみにしております。



一般社団法人 X Taxi

問い合わせ先: info@xtaxi.jp

ホームページ: <https://www.xtaxi.jp/>

